

ValueOne Gシリーズを ご購入いただいたお客様へ

添付のマニュアルをお読みになる前に、必ずこの冊子をご覧ください

本冊子では、ValueOne Gシリーズの仕様や、ValueOne Gシリーズと他のシリーズとの違いについて説明しています。

本冊子以外のマニュアルには、ValueOne Gシリーズ以外の情報も記載されていますので、あらかじめ本冊子で、ValueOne Gシリーズの情報をご確認ください。

ご購入いただいたモデルの確認.....	3
添付品の確認.....	8
マニュアルの表記（モデル名）について.....	10
フロッピーディスクドライブについて.....	11
ご使用時の注意.....	13
Office 2003 の再セットアップについて（Office 2003 モデルのみ）...	16
アフターケアについて.....	20
仕様一覧.....	21

ValueOne

© NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd. 2005

日本電気株式会社、NECパーソナルプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

本書に記載のイラストは、モデルによって異なることがあります。

Microsoft、Windows、Office ロゴ、OutlookおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

AMD、AMD Arrowロゴ、AMD Sempron、ならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。Roxio DigitalMediaは、Sonic Solutions社の登録商標です。

NVIDIA、NVIDIAロゴ、GeForce、NViewは、NVIDIA Corporation社の商標です。

SDおよびminiSDロゴ、およびロゴは商標です。

“MagicGate Memory Stick” (“マジックゲートメモリースティック”)および“Memory Stick” (“メモリースティック”)、**MEMORY STICK**、、**MEMORY STICK PRO**、**MEMORY STICK Duo**、“MagicGate” (“マジックゲート”)、**MAGIC GATE**、OpenMGはソニー株式会社の商標です。

、「xD-ピクチャーカード™」は富士写真フイルム(株)の商標です。

SmartMedia (スマートメディア)は、株式会社 東芝の登録商標です。

CompactFlash (コンパクトフラッシュ)は、SanDisk Corporation社の登録商標です。

Microdriveは、IBMの商標です。IBM は、IBM Corporation社の登録商標です。

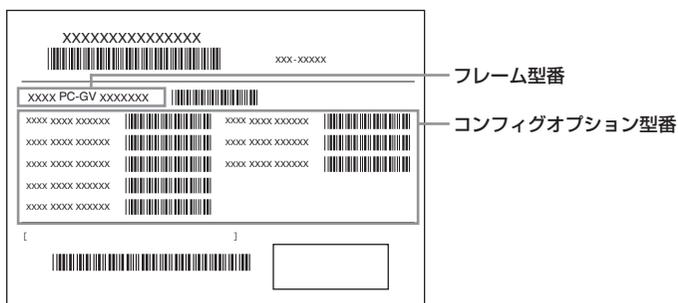
その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

ご購入いただいたモデルの確認

「添付品の確認」(p.8)をご覧くださいの前に、ご購入いただいたモデルの型番を確認してください。モデルによって添付品などが異なります。

型番について

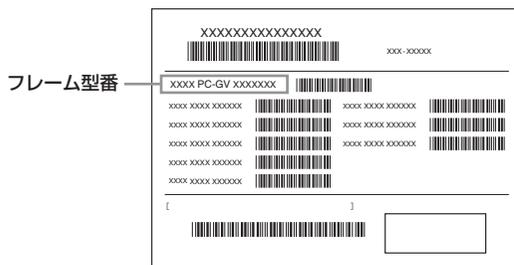
梱包箱に貼られたステッカーに、フレーム型番とコンフィグオプション型番が記載されています。これらの型番は、添付品の接続や、再セットアップ時に必要になりますので、次ページ以降で確認し、このマニュアルに記入しておいてください。



チェック!! ValueOne GシリーズをNEC Directから直接ご購入の場合は、121ware.comのマイアカウントの「保有商品情報」に自動的に登録されます。そのため、あらためて保有商品情報をご登録いただく必要はありません。

フレーム型番の確認

梱包箱に貼られたステッカーに記載のフレーム型番を、下記の①～③の枠に記入してください。



1
2
3
PC-GV

UZ **1**

フレーム型番の、①～③の部分の英数字の意味は、次の各表のとおりです。
該当するものにチェックマーク(✓)を記入してください。選んだパソコンの種類を確認できます。

①は、CPUのクロック周波数を表しています。

✓	型番	クロック周波数
<input type="checkbox"/>	38	Athlon 64 3800+(2.4GHz)
<input type="checkbox"/>	32	Athlon 64 3200+(2.0GHz)
<input type="checkbox"/>	30	Sempron 3000+(1.8GHz)

②は、CPUの種類を表しています。

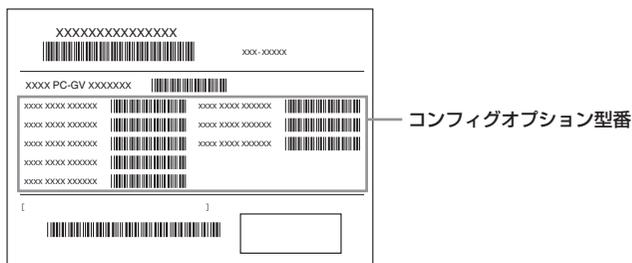
✓	型番	CPU
<input type="checkbox"/>	N	AMD Athlon™ 64 プロセッサ
<input type="checkbox"/>	U	AMD Sempron™ プロセッサ

③は、OSとソフトウェアパックの種類を表しています。

✓	型番	OS
<input type="checkbox"/>	G	Windows XP Home Edition (ミニмумソフトウェアパック)
<input type="checkbox"/>	M	Windows XP Professional (ミニмумソフトウェアパック)

コンフィグオプション型番の確認

コンフィグオプション型番は、選んだモデルやオプションごとにそれぞれ、ステッカーに記載されています(型番は順不同になっています)。



コンフィグオプション型番の種類と意味について、[1]～[14]の各表で説明しています。コンフィグオプション型番の□の部分に入る英数字を確認して、該当するものにチェックマーク(✓)を記入してください。これらの表で、選んだ機器やソフトウェアの内容を確認できます。

[1] PC-G-ME□□□□は、メモリの種類と容量を表しています。

✓	型番	メモリの種類と容量
	D25P	256MB DDR SDRAM(256MB×1)、PC3200対応(DDR400)※1
	D52J	512MB DDR SDRAM(512MB×1)、PC3200対応(DDR400)
	D10M	1GB DDR SDRAM(512MB×2)、PC3200対応(DDR400)
	D209	2GB DDR SDRAM(1GB×2)、PC3200対応(DDR400)

※1:内蔵ハードディスクドライブの容量が1,000GBを超えるときは、選択できません。

[2] PC-G-R□□□□□は、内蔵ハードディスクドライブの容量を表しています。

✓	型番	内蔵ハードディスクドライブの容量
	N1082	約80GB Serial ATA HDD
	N1163	約160GB Serial ATA HDD
	N1202	約200GB Serial ATA HDD
	N1253	約250GB Serial ATA HDD
	N1503	約500GB Serial ATA HDD
	N2201	約400GB(200GB×2台) Serial ATA HDD
	N2251	約500GB(250GB×2台) Serial ATA HDD
	N2501	約1TB(500GB×2台) Serial ATA※1 HDD

※1:メモリ容量が256MBのときは選択できません。

[3] PC-G-CD□□□□は、DVD/CDドライブの種類を表しています。

✓	型番	DVD/CDドライブの種類
	CDD7	CD-ROMドライブ
	COMD	CD-R/RW with DVD-ROMドライブ
	DMPC	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ (DVD-R/+R 2層書き込み)

[4] PC-G-2C□□□□は、2nd DVD/CDドライブの種類を表しています。

✓	型番	2nd DVD/CDドライブの種類
	DMP2	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ (DVD-R/+R 2層書き込み)

[5] PC-G-FD□□□□は、フロッピーディスクユニットの種類を表しています。

✓	型番	フロッピーディスクユニットの種類
	UFD6	外付けUSBフロッピーディスクユニット

[6] PC-G-GR□□□□は、グラフィックボードの種類を表しています。

✓	型番	グラフィックボードの種類
	G623	NVIDIA社製GeForce™ 6200 TC
	G662	NVIDIA社製GeForce™ 6600 GT

[7] PC-G-SL□□□□は、カードスロットの種類を表しています。

✓	型番	カードスロットの種類
	MRD2	7メディア対応カードスロット

[8] PC-G-13□□□□は、IEEE1394ボードの種類を表しています。

✓	型番	IEEE1394ボードの種類
	94B2	IEEE1394ボード

[9] PC-G-NE□□□□は、通信用ボードの種類を表しています。

✓	型番	通信用ボードの種類
	MDM8	モデムボード

 **チェック!!** モデムボードを選ばなかった場合、ダイヤルアップ接続でのオンラインサインアップなどのご利用になれません。

[10] PC-G-AP□□□□は、選択ソフトウェアの種類を表しています。

✓	型番	選択ソフトウェアの種類
	OF22	Microsoft® Office Personal Edition 2003
	OPR2	Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003

[11] PC-G-SP□□□□は、スピーカの種類を表しています。

✓	型番	スピーカの種類
	BSP3	外付けステレオスピーカ

[12] LCD□□□□□-V1-Gは、ディスプレイの種類(型)を表しています。

✓	型番※1	ディスプレイの種類
	1704M	17型アナログTFT液晶ディスプレイ※2

※1: ディスプレイの箱、保証書、銘板、添付のマニュアルには、「-G」が書かれていませんが、同じ商品です。

※2: 1,280×1,024ドットの解像度以外は拡大表示されますので、文字などの線がぼやけることがあります。

[13] F□□□□□-Gは、ディスプレイの種類(型)を表しています。

✓	型番※1	ディスプレイの種類
	17R51	17型デジタルTFT液晶ディスプレイ※2 ※3

※1: ディスプレイの箱、保証書、銘板、添付のマニュアルには、「-G」が書かれていませんが、同じ商品です。

※2: 1,280×1,024ドットの解像度以外は拡大表示されますので、文字などの線がぼやけることがあります。

※3: PCI Expressボード(グラフィックボード)なしの場合は選択できません。

[14] PC-G-SU□□□□は、延長保証の種類を表しています。

✓	型番	延長保証の種類
	2ES1	PC2年間出張修理保証サービスパック
	3EH1	PC3年間安心保証サービスパック
	3ES1	PC3年間出張修理保証サービスパック

メモ

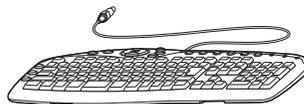
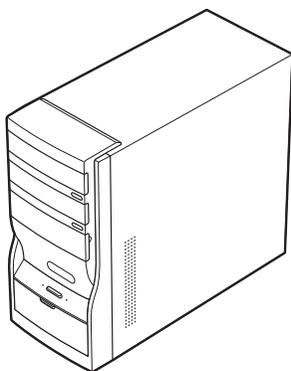
ご購入いただいたパソコンのフレーム型番や情報は、「サポートナビゲーター」-「パソコンの情報」でも確認できます。

次ページから、ValueOne Gシリーズに関する添付品情報や読み替え情報、注意事項などについて記載しています。ここで控えた型番を参考にして、該当する説明をご覧ください。

添付品の確認

まず、「ご購入いただいたモデルの確認」(p.3)で、ご購入いただいたモデルを確認してください。次に添付品を確認してください。モデルにより、添付品が異なります。

タイプMT



- パソコン本体
- キーボード
- マウス
- アース付き電源ケーブル
- 電話回線ケーブル(モジュラーケーブル)
- セットアップシート
- ソフトウェアのご使用条件(お客様へのお願い) / ソフトウェア使用条件適用一覧(1枚になっています。箱の中身を確認後必ずお読みください)
- 121wareガイドブック
- ユーザーズマニュアル
- ValueOne Gシリーズをご購入いただいたお客様へ(このマニュアル)

次の添付品の有無や種類は、選んだコンフィグオプション型番により異なります。「ご購入いただいたモデルの確認」(p.3)をご覧ください。コンフィグオプション型番のチェック表で添付されているものをご確認ください。

● ディスプレイを選んだ場合(以下のいずれか1つになります)

- 17型アナログTFT液晶ディスプレイ
(コンフィグオプション型番:LCD1704M-V1-G)
- 17型デジタルTFT液晶ディスプレイ
(コンフィグオプション型番:F17R51-G)

● コンフィグオプション型番がPC-G-FDUFD6の場合(フロッピーディスクユニット)

- 外付けUSBフロッピーディスクユニット

● コンフィグオプション型番がPC-G-GRG623の場合(グラフィックボード)

- ディスプレイ出力変換ケーブル(DVI↔アナログRGB)

● **コンフィグオプション型番がPC-G-SPBSP3の場合(スピーカ)**

外付けステレオスピーカ

● **コンフィグオプション型番がPC-G-APOF22の場合(ソフトウェア)**

Microsoft® Office Personal Edition 2003 パッケージ

● **コンフィグオプション型番がPC-G-APOPR2の場合(ソフトウェア)**

Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003 パッケージ

● **コンフィグオプション型番がPC-G-SU2ES1、PC-G-SU3EH1、PC-G-SU3ES1の場合(延長保証)**

安心保証サービスパック または 出張修理保証サービスパック

 **チェック!!** 添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにNEC 121コンタクトセンターにお申し出ください。

マニュアルの表記(モデル名)について

このパソコンに添付されているマニュアルおよび「サポートナビゲーター」をお読みになるときは、次のようにモデル名を本体のシリーズ名に読み替えてください。

本体のシリーズ名	選択OS	モデル名
タイプMT	Windows XP Home Edition	ValueOne MT
	Windows XP Professional	ValueOne MT

フロッピーディスクドライブについて

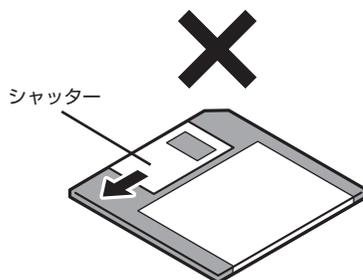
外付けUSBフロッピーディスクドライブをご購入の場合の接続方法と、フロッピーディスクの入れ方と出し方について説明します。

✓**チェック!!** フロッピーディスクは、1.44Mバイトでフォーマットされたものをお使いください。

フロッピーディスクを取り扱うときの注意

次の注意事項を守ってください。

・シャッターを開けて中のディスクに直接触れない。



- ・ラベルを貼ってから、鉛筆やペンで記入したり、消しゴムを使ったりしない。
- ・ラベルは正しい位置に貼る。ラベルを2枚以上重ねて貼らない。
- ・ゴミやホコリが多い場所で使わない。
- ・外側が汚れたものは使わない。
- ・クリップなどではさんだり、投げたり、落としたりしない。
- ・上に重い物を載せたり、曲げたりしない。
- ・直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど温度が高くなる場所に保管しない。

● 磁石に注意

フロッピーディスクは磁力で情報を記憶しています。このため、磁石を近づけると内容が消えたりデータの一部分が破損したりします。磁石はテレビやスピーカにも使われているため、これらの上にフロッピーディスクを置かないでください。ホワイトボードや冷蔵庫に紙を留めておくための磁石などもフロッピーディスクに近づけないでください。

フロッピーディスクドライブの接続と取り外し

● フロッピーディスクドライブを接続する

フロッピーディスクドライブを使用する前に、フロッピーディスクドライブをパソコンに接続します。

- 1 フロッピーディスクドライブのプラグを、パソコンのUSBコネクタ()に接続する
接続すると、画面右下の通知領域に が表示されます。

● フロッピーディスクドライブを取り外す

フロッピーディスクドライブを使わないときは、正しい手順で取り外してください。

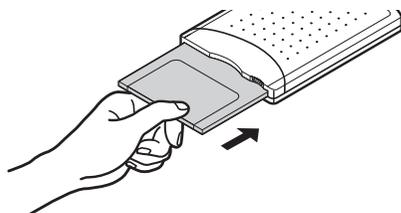
詳しくは、 「サポートナビゲーター」 - 「パソコン各部の説明」 - 「パソコンにつなげる」 - 「USBコネクタ」をご覧ください。

フロッピーディスクの入れ方と出し方

● フロッピーディスクをセットする

✓ **チェック!** パソコンの電源を入れる前にフロッピーディスクをセットしないでください。

- 1 ラベル面を上にして、フロッピーディスクを一番奥まで差し込む
カチッと音がして、フロッピーディスクがセットされます。

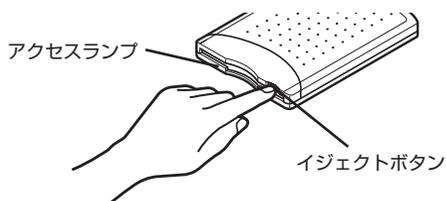


● フロッピーディスクを取り出す

- 1 アクセスランプが消えていることを確認する

✓ **チェック!** ランプが緑色に点灯しているときは、フロッピーディスクにファイルを保存したり、ファイルを開いたりしている途中であることを示します。ランプの点灯中は、フロッピーディスクを取り出さないでください。フロッピーディスクの内容が破損することがあります。

- 2 イジェクトボタンを押し込む



- 3 フロッピーディスクを引き出す

フロッピーディスクを曲げないように、まっすぐ引き出してください。

ご使用時の注意

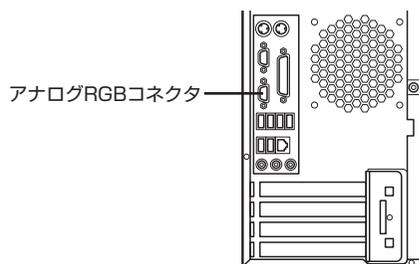
ディスプレイの接続について

このパソコンには、ミニD-sub15ピンのアナログRGBコネクタに対応したディスプレイが接続できます。また、グラフィックボードを選択した場合は、DVIコネクタに対応したディスプレイも接続できます。

ディスプレイの接続コネクタは、選択したPCI Expressボード(グラフィックボード)により異なります。ディスプレイを接続するときは、以下の説明とディスプレイのマニュアルをご覧ください。

● PCI Expressボード(グラフィックボード)なしの場合

アナログRGBコネクタ(D-sub)対応のディスプレイは、パソコン本体のアナログRGBコネクタに接続してください。



なお、PCI Expressボード(グラフィックボード)なしの場合、DVIコネクタ対応のディスプレイは接続できません。

● GeForce 6600 GTを選んだ場合

アナログRGBコネクタ(D-sub)対応のディスプレイは、GeForce 6600 GTのアナログRGBコネクタに、DVIコネクタ対応のディスプレイは、GeForce 6600 GTのDVI-Iコネクタに接続してください(パソコン本体のアナログRGBコネクタは使用できません)。



- ✔ **チェック!!** GeForce 6600 GTを選んだ場合、GeForce 6600 GTのアナログRGBコネクタとDVI-Iコネクタのそれぞれに対応するディスプレイを接続し、同時に使えるように設定することができます。詳しくは、🖱️「サポートナビゲーター」 - 「パソコン各部の説明」 - 「パソコンの機能」 - 「表示機能」をご覧ください。

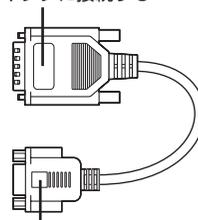
●GeForce 6200 TCを選んだ場合

アナログRGBコネクタ(D-sub)対応のディスプレイは、添付されているディスプレイ出力変換ケーブル(DVI↔アナログRGB)を使って、GeForce 6200 TCのDVI-Iコネクタに接続してください。

DVIコネクタ対応のディスプレイは、そのままGeForce 6200 TCのDVI-Iコネクタに接続してください。



ディスプレイ出力変換ケーブル
DVI-Iコネクタに接続する



ディスプレイのケーブルに接続する

液晶ディスプレイについて

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。

また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。

これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

※：社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインに従い、ドット抜けの割合を添付マニュアルの仕様一覧に記載しております。ガイドラインの詳細については、以下のWEBサイトをご覧ください。

「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」

<http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html>

IEEE1394ボードについて

IEEE1394ボード(PC-G-1394B2)を選択された場合、このパソコン背面のPCIスロットにIEEE1394ボードが取り付けられています。

IEEE1394ボードについては、👤「サポートナビゲーター」 - 「パソコン各部の説明」 - 「パソコンにつなげる」 - 「IEEE1394 (DV)コネクタ」をご覧ください。

7メディア対応カードスロットについて

7メディア対応カードスロット(PC-G-SLMRD2)を選択された場合、このパソコン前面に7メディア対応カードスロットが取り付けられています。

7メディア対応カードスロットについては、👤「サポートナビゲーター」 - 「パソコン各部の説明」 - 「パソコンにつなげる」 - 「7メディア対応カードスロット」をご覧ください。

DVD/CDドライブの選択と添付されるソフトについて

DVD/CDドライブでCD-ROMドライブ(PC-G-CDCDD7)のみを選択された場合、次のソフトは添付されません。

- ・ Roxio DigitalMedia SE7
- ・ WinDVD
- ・ 再セットアップ作成ツール
- ・ DVD-RAM用ドライバーソフト

また、DVD/CDドライブでCD-R/RW with DVD-ROMドライブ(PC-G-CDCOMC)のみを選択された場合、次のソフトは添付されません。

- ・ DVD-RAM用ドライバーソフト

RAID機能

このパソコンはRAID機能を搭載していません。『ユーザーズマニュアル』に記載されているRAID機能の説明、操作手順には対応していませんのでご注意ください。

Office 2003 の再セットアップ について

(Office 2003モデルのみ)

再セットアップの流れ

再セットアップは次の13項目の作業を連続しておこないます。項目によっては()内におよその作業時間を示していますが、実際にかかる時間はモデルやパソコンの使用状況で異なります。

1 必要なものを準備する

- ・「Microsoft® Office Personal Edition 2003」CD-ROM (Office Personal 2003 モデルのみ)
 - ・「Microsoft® Office Home Style⁺」CD-ROM (Office Personal 2003 モデルのみ)
 - ・「Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003」CD-ROM (Office Professional 2003 モデルのみ)
 - ・『ユーザーズマニュアル』
 - ・『ValueOne G シリーズをご購入いただいたお客様へ』(このマニュアル)
- その他、このパソコンをご購入後に自分でインストールしたソフトがある場合、そのマニュアルをご覧になり、インストールに必要なCD-ROMなどを準備してください。

2 バックアップを取ったデータを確認する

3 インターネットやLAN の設定を控える

4 ユーザー名を控える

5 BIOS の設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ

6 別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す

7 システムを再セットアップする(約1時間)

8 Windows の設定をする(約30分)

9 Office 2003 を再セットアップする(約10分)

10 別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす

11 インターネットの設定などをやりなおす

12 別売のソフトをインストールしなおす

13 バックアップを取ったデータを復元する

Office 2003 を再セットアップする

- ✓チェック!!**
- ・ここでは、「9 Office 2003 を再セットアップする」について説明しています。その他の手順や再セットアップの注意事項については、『ユーザーズマニュアル』をご覧ください。
 - ・ここでは、ご購入時と同じ状態でセットアップする方法について説明しています。必要のない機能を削除する方法や、あとから機能を追加する方法については、添付のOffice 2003のマニュアルをご覧ください。

- 1 『ユーザーズマニュアル』の「PART2 再セットアップ」の「再セットアップする(Cドライブのみ)」で「2 バックアップを取ったデータを確認する」～「8 Windowsの設定をする」までの手順をおこなう
- 2 「Microsoft® Office Personal Edition 2003」CD-ROM または「Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003」CD-ROMをセットする
- 3 「Microsoft Office 2003セットアップ」の画面が表示されたら、プロダクトキーを入力して、「次へ」をクリックする
「プロダクトキー」は、CD-ROM ケースの裏面に貼ってあるシールに記載されています。
- 4 「ユーザー情報」が表示されたら、ユーザー名などを入力して「次へ」をクリックする
ユーザー名などの欄には、何も入力しなくてもかまいません。
- 5 「インストールの種類」と表示されたら、「カスタムインストール」をクリックして を にして、「次へ」をクリックする
- 6 「カスタムセットアップ」と表示されたら、「アプリケーションごとにオプションを指定してインストール」をクリックして を にして、「次へ」をクリックする
- 7 「詳細なカスタマイズ」と表示されたら、「Microsoft Office」の左側にある  をクリックして、「マイコンピュータからすべて実行」をクリックする

- ✓チェック!!** このとき表示される一覧の中に、灰色で表示されているフォルダがないことを確認してください。あったときは、もう一度この手順をやりなおしてください。

- 8 「Microsoft Office Excel」の左側にある  をクリックし、「読み上げ」の左側にある  をクリックして、「インストールしない」をクリックする
「読み上げ」の左にあるアイコンが  に変わります。
- 9 同じようにして「Office共有機能」の  -「入力システムの拡張」の  をクリックし、「音声」の左側にある  をクリックして、「インストールしない」をクリックする
- 10 「Microsoft Office Excel」の「読み上げ」、「Office共有機能」の「音声」、どちらも  に変わったことを確認し、「次へ」をクリックする
- 11 「ファイルの概要」と表示されたら、「完了」をクリックする
インストールが始まります。
- 12 再起動するようにメッセージが表示されたら、「はい」をクリックする

- ✓チェック!!**
- ・「Microsoft Office 2003のセットアップが正常に完了しました。」と表示されることもあります。その場合、「完了」をクリックしてください。
 - ・「Webサイトで更新および追加ダウンロードをチェックする」の を にしないでください。

- 13 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「完了」をクリックする
 - 14 「Microsoft® Office Personal Edition 2003」 CD-ROM または、「Microsoft Office Professional Enterprise Edition 2003」 CD-ROMを取り出す
Office Personal 2003 モデルの場合は、続けて「Home Style+」をインストールします。
Office Professional 2003 モデルの場合は、手順 23 に進んでください。
 - 15 「Microsoft® Office Home Style+」 CD-ROMをセットする
 - 16 「Microsoft Office Home Style+セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする
 - 17 「使用許諾契約書」が表示されたら、内容を確認し、「同意します」をクリックして  を  にして、「次へ」をクリックする
 - 18 「セットアップ先のフォルダ」と表示されたら、「次へ」をクリックする
 - 19 「インストールタイプの選択」と表示されたら、「標準」が  になっていることを確認し、「次へ」をクリックする
 - 20 「インストールの開始」と表示されたら、「次へ」をクリックする
インストールが始まります。
 - 21 「セットアップは正常に終了しました。」と表示されたら、「OK」をクリックする
-  **チェック!** 「Microsoft .NET Framework 1.1パッケージをインストールしますか?」と表示された場合は、「いいえ」をクリックしてください。
- 22 「Microsoft® Office Home Style+」 CD-ROMを取り出す
続けて「Office 2003 SP1」をインストールします。
 - 23 「スタート」 - 「マイ コンピュータ」をクリックし、「Windows XP (C:)」をダブルクリックする
 - 24 「このフォルダの内容を表示する」をクリックする
 - 25 「APSETUP」フォルダをダブルクリックする
 - 26 「O11SP1」フォルダ (Office Personal 2003モデル)、「O11ProSP1」フォルダ (Office Professional 2003モデル)をダブルクリックする
 - 27 「O11Sp1PI」(Office Personal 2003モデル)、「Office2003SP1-kb842532-client-jpn.exe」(Office Professional 2003モデル)をダブルクリックする
 - 28 「Office 2003 Service Pack1 (プレインストール用) (Office Personal 2003モデル)、「Office 2003 Service Pack1 (SP1) (Office Professional 2003モデル)の画面が表示されたら、「はい」をクリックする
 - 29 使用許諾契約が表示されたら、「はい」をクリックする
インストールが始まります。「インストールを継続するには、次のアプリケーションを閉じる必要があります」と表示された場合は、「無視」をクリックしてください。
 - 30 再起動するようにメッセージが表示されたら、「はい」をクリックする
これで Office Professional 2003 を使う準備ができました。

 **チェック!** 再セットアップ後、Outlook 2003やWord 2003、Excel 2003など、Office 2003のソフトを最初に使用するときは、「Microsoft Office 2003ライセンス認証ウィザード」が表示されます。添付の『Microsoft® Office Personal Edition 2003 スタートガイド』または『Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003スタートガイド』をご覧になり、ライセンス認証をおこなってください。このライセンス認証手続きは、必ず、再セットアップの作業がすべて完了してからおこなってください。

31 『ユーザズマニュアル』の「PART2 再セットアップ」の「再セットアップする(Cドライブのみ)」で「10 別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす」～「13 バックアップを取ったデータを復元する」までの手順をおこなう

アフターケアについて

保守サービスやお問い合わせについての情報です。

保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、『121wareガイドブック』に記載の**NEC 121コンタクトセンター**で承っております。**お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など**、詳しくは、『121wareガイドブック』をご覧ください。

このパソコンに添付されているアプリケーションに関するお問い合わせは、このパソコンに入っている電子マニュアル📖「サポートナビゲーター」-「ソフトの紹介と説明」-「ソフト一覧」をご覧ください。各社へお問い合わせください。

また、このパソコンと別にご購入になった周辺機器やメモリ、アプリケーションに関するお問い合わせは、その製品の取り扱い説明書などに記載の問い合わせ先にご相談ください。

ValueOne Gシリーズに関するお問い合わせ

ValueOne Gシリーズのご購入などに関するお問い合わせは、下記コールセンターまでお問い合わせください。

●NEC Direct (NECダイレクト)コールセンター

電話 : 0120-944-500
※携帯電話などフリーコールがご利用できない場合の電話番号
Tel: 03-6670-6670 (東京) (通話料お客様負担)

受付時間 : 月～金 9:00～17:00
(土日・祝日および指定休日を除く)

ValueOne Gシリーズをご購入後の使い方などのご相談や故障診断／修理のご相談などについては、下記NEC 121コンタクトセンターまでお問い合わせください。

●NEC 121 (ワントゥワン)コンタクトセンター

電話(局番なし フリーコール) : 0120-977-121
※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。
※携帯電話などフリーコールがご利用できない場合の
電話番号
Tel : 03-6670-6000 (東京) (通話料お客様負担)

受付時間: <使い方相談・買い取り相談・回収リサイクル受付>
9:00～17:00 (年中無休)
※「121wareお客様登録番号」が必要となりますので、事前に121wareお客様登録をお願いします。

<故障診断／修理受付・FAX情報サービス>
24時間365日
※システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただきます場合があります。

・ サービス内容の詳細や最新情報については、<http://121ware.com/121cc/>をご覧ください。

仕様一覧

●タイプ MT

型番	PC-GV38NUZG1 PC-GV38NUZM1		PC-GV32NUZG1 PC-GV32NUZM1	PC-GV30UJZG1 PC-GV30UJZM1
インストールOS・サポートOS	<ul style="list-style-type: none"> ・ フレーム型番(PC-GV□□□UZ■1)の■が、Mの場合 Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 2※1 ・ フレーム型番(PC-GV□□□UZ■1)の■が、Gの場合 Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 2※1 			
CPU		AMD Athlon™ 64 プロセッサ 3800+※2	AMD Athlon™ 64 プロセッサ 3200+※3	AMD Sempron™ プロセッサ 3000+※4
	キャッシュメモリ	1次 64KB命令/64KBデータ		128KB
バスクロック	システムバス	2000MHz		1600MHz
	メモリバス	400MHz		
チップセット	Silicon Integrated Systems社製 SiS761GX / SiS965L			
メインメモリ※5	標準容量 / 最大容量※6	セレクションメニューにて選択可能 / 最大2GB※7		
	スロット数	DIMMSロット×2[空き:セレクションにより0～1]		
表示機能	ディスプレイ	セレクションメニューにて選択可能		
	グラフィックアクセラレータ	セレクションメニューにて選択可能		
	ビデオRAM	128MB (DDR3-SDRAM採用) [GeForce™ 6600 GT選択時] 最大256MB※8※9 [GeForce™ 6200 with TurboCache™選択時] 32MB(メインメモリ容量256MB選択時)または64MB(メインメモリ容量512MB以上選択時)※5 [SiS社製 SiS761GX(チップセットに内蔵)(アナログ接続)選択時]		
表示色(表示解像度)※10	デジタルディスプレイ	最大約1,677万色 (1,600×1,200、1,280×1,024、1,024×768、800×600)		
	アナログディスプレイ	最大約1,677万色 (1,600×1,200、1,280×1,024、1,024×768、800×600)		
ドライブ	ハードディスクドライブ	セレクションメニューにて選択可能		
	DVD/CDドライブ	セレクションメニューにて選択可能		
	フロッピーディスクドライブ	セレクションメニューにて選択可能		
サウンド機能	スピーカ	セレクションメニューにて選択可能		
	音源 / サラウンド機能	PCM録音再生機能(ステレオ / モノラル、量子化8ビット / 16ビット、サンプリングレート8-48KHz、全二重化対応)、MIDI音源機能(ソフトウェアMIDI <GM、GS演奏モード対応、DLS2対応※11)、マイクノイズ除去機能、3Dボジショナルサウンド		
	サウンドチップ	ADI社製 AD1981B搭載		
通信機能	LAN	100BASE-TX/10BASE-T対応(PCIバス接続)		
	FAXモデム※12	セレクションメニューにて選択可能		
拡張スロット	PCI Express x16スロット(フルハイット、ハーフ)×1[空きスロット0～1 (セレクションにより異なる)] PCISロット(ハーフ)×3[空きスロット1～3 (セレクションにより異なる)]			
ベイ	5型ベイ: 2スロット(DVD/CDドライブで1～2スロット占有済) [空きスロット1～0 (セレクションにより異なる)]、 内蔵3.5型ベイ: 2スロット(ハードディスクドライブで1～2スロット占有済) [空きスロット1～0(セレクションにより異なる)]※13			
入力装置	キーボード	PS/2 フルサイズキーボード(テンキー付き、ワンタッチスタートボタン付き)		
	マウス	PS/2ボールマウス(スクロール機能付き)		

型番		PC-GV38NUZG1 PC-GV38NUZM1	PC-GV32NUZG1 PC-GV32NUZM1	PC-GV30UUZG1 PC-GV30UUZM1	
外部インターフェイス	USB	コネクタ4ピン×7(本体リア×6、本体フロント×1) [USB 2.0]※14			
	IEEE1394(DV)	セレクションメニューにて選択可能			
	ディスプレイ	DVH(29ピン)※15※16、ミニD-sub15ピン※15 [GeForce™ 6600 GT選択時] DVH(29ピン)※16※17 [GeForce™ 6200 with TurboCache™選択時] ミニD-sub15ピン※18 [グラフィックを選択しなかった場合(SiS社製 SiS761GX[チップセットに内蔵(アナログ接続)])]			
	PS/2	ミニDIN6ピン×2※19			
	FAXモデム	RJ11モジュラコネクタ×2(LINE×1、TELEPHONE×1) [FAXモデム選択時]			
	LAN	RJ45コネクタ×1			
	パラレル	D-sub25ピン×1			
	シリアル	D-sub9ピン×1			
	サウンド関連	ライン入力	ステレオミニジャック×1(入力インピーダンス 20kΩ、入力レベル 1Vrms)		
		ライン出力	ステレオミニジャック×1※20、ヘッドフォン出力と共用(出力インピーダンス 10kΩ、出力レベル 1Vrms)		
マイク入力		ステレオミニジャック×1(マイク入力インピーダンス 20kΩ、入力レベル 5mVrms、バイアス電圧3.7V)			
ヘッドフォン出力		(ライン出力と共用)(対応ヘッドフォンインピーダンス 16Ω-100Ω[推奨32Ω]※26、出力電力 5mW/32Ω)			
カードスロット	メモリーカード セレクションメニューにて選択可能				
電源	AC100V±10%、50/60Hz				
消費電力	標準/最大/ スタンバイ状態時	約70W※21 / 約325W / 約3.4W	・PC-GV32NUZG1 約67W※21 / 約312W / 約3.4W ・PC-GV32NUZM1 約67W※21 / 約313W / 約3.4W	・PC-GV30UUZG1 約65W※22 / 約310W / 約3.4W ・PC-GV30UUZM1 約65W※22 / 約309W / 約3.4W	
エネルギー消費効率(省エネ基準達成率)※23	P区分 0.00044 (AAA) ※24		P区分 0.00053 (AAA) ※24	P区分 0.00059 (AAA) ※25	
電波障害対策	VCCI ClassB				
外形寸法	本体(突起部除く)	175(W)×420(D)×381(H)mm			
	キーボード	491(W)×213(D)×40(H)mm			
質量	本体	約13kg※21	約13kg※21	約13kg※22	
	キーボード/マウス	約875g/約110g			
温湿度条件	10～35℃、20～80%(ただし結露しないこと)				
ソフトウェアパック	ミニマムソフトウェアパック				
主な添付品	マニュアル、電源ケーブル、電話回線ケーブル				

■以下の各項目から1つ選択することで、仕様が異なります。

型番		PC-GV38NUZG1 PC-GV38NUZM1	PC-GV32NUZG1 PC-GV32NUZM1	PC-GV30UUZG1 PC-GV30UUZM1
メインメモリ※6	標準	いずれか選択可能 ・256MB(ECC無しDDR SDRAM、PC3200対応(DDR400)、256MB DIMM)※27 ・512MB(ECC無しDDR SDRAM、PC3200対応(DDR400)、512MB DIMM) ・1GB(ECC無しDDR SDRAM、PC3200対応(DDR400)、512MB DIMM + 512MB DIMM) ・2GB(ECC無しDDR SDRAM、PC3200対応(DDR400)、1GB DIMM + 1GB DIMM)		
	スロット数	2スロット(DIMMスロット) [空きスロット:セレクションにより0～1]		
	最大容量	2GB※7		
表示機能	グラフィックアクセラレータ	いずれか選択可能 ・NVIDIA社製 GeForce™ 6600 GT [グラフィックボードに実装] ・NVIDIA社製 GeForce™ 6200 with TurboCache™ [グラフィックボードに実装] ・SiS社製 SiS761GX[チップセットに内蔵](アナログ接続)※18		
	ビデオRAM	128MB (DDR3-SDRAM採用) [GeForce™ 6600 GT選択時] 最大256MB※8※9 [GeForce™ 6200 with TurboCache™選択時] 32MB(メインメモリ容量256MB選択時)または64MB(メインメモリ容量512MB以上選択時)※5 [SiS社製 SiS761GX[チップセットに内蔵](アナログ接続)選択時]		
	インターフェイス	DVH(29ピン)※15※16、ミニD-sub15ピン※15 [GeForce™ 6600 GT選択時] DVH(29ピン)※16※17 [GeForce™ 6200 with TurboCache™選択時] ミニD-sub15ピン※18 [グラフィックを選択しなかった場合(SiS社製 SiS761GX[チップセットに内蔵(アナログ接続)])]		

型番	PC-GV38NUZG1 PC-GV38NUZM1	PC-GV32NUZG1 PC-GV32NUZM1	PC-GV30UJZG1 PC-GV30UJZM1	
ドライブ	ハードディスクドライブ※28	いずれか選択可能 ・約80GB(Serial ATA、高速7,200回転/分)※29 ・約160GB(Serial ATA、高速7,200回転/分)※30 ・約200GB(Serial ATA、高速7,200回転/分)※31 ・約250GB(Serial ATA、高速7,200回転/分)※32 ・約500GB(Serial ATA、高速7,200回転/分)※33 ・約400GB (約200GB×2) (Serial ATA、高速7,200回転/分)※34 ・約500GB (約250GB×2) (Serial ATA、高速7,200回転/分)※35 ・約1TB (約500GB×2) (Serial ATA、高速7,200回転/分)※27※36		
	DVD/CDドライブ	いずれか選択可能 ・DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW) (バッファアンダーランエラー防止機能付き) [DVD-R/+R 2層書込み]※37 ・マルチブレードドライブ(CD-R/RW with DVD-ROM)内蔵(バッファアンダーランエラー防止機能付き)※37 ・CD-ROMドライブ内蔵※38		
	速度	・DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW) [DVD-R/+R 2層書込み] DVD-RAM読出し:最大5倍速※39、 DVD-RAM書換え:最大5倍速※39※40、 DVD+R(1層)書込み:最大16倍速、 DVD+R (2層)書込み:最大4倍速※41、 DVD+RW書換え:最大8倍速、 DVD-R(1層)書込み:最大16倍速※42、 DVD-R(2層)書込み:最大4倍速※43※44※45、 DVD-RW書換え:最大6倍速※46、 DVD読出し:最大16倍速、 CD読出し:最大40倍速※47、 CD-R書込み:最大40倍速、 CD-RW書換え:最大10倍速※48 ・マルチブレードドライブ(CD-R/RW with DVD-ROM) DVD読出し:最大16倍速、CD読出し:最大40倍速※47、 CD-R書込み:最大40倍速、CD-RW書換え:最大10倍速※48 ・CD-ROMドライブ CD読出し:最大40倍速※47		
	増設DVD/CDドライブ	いずれか選択可能 ・無し ・DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW) (バッファアンダーランエラー防止機能付き) [DVD-R/+R 2層書込み]※37		
速度	速度	・DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW) [DVD-R/+R 2層書込み] DVD-RAM読出し:最大5倍速 ※39、 DVD-RAM書換え:最大5倍速※39※40、 DVD+R(1層)書込み:最大16倍速、 DVD+R (2層)書込み:最大4倍速※41、 DVD+RW書換え:最大8倍速、 DVD-R(1層)書込み:最大16倍速※42、 DVD-R(2層)書込み:最大4倍速※43※44※45、 DVD-RW書換え:最大6倍速※46、 DVD読出し:最大16倍速、 CD読出し:最大40倍速※47、 CD-R書込み:最大40倍速、 CD-RW書換え:最大10倍速※48		
	フロッピーディスクドライブ	いずれか選択可能 ・無し ・3.5型外付け(USB接続)※49		
通信機能	FAXモデムボード (PCI)※12	いずれか選択可能 ・無し ・FAXモデムボード: データ通信:最大56Kbps※50(V.90対応) / FAX通信:最大14.4Kbps(V.17)、Resume On Ring機能対応		
外部インターフェイス	IEEE1394ボード (PCI)	いずれか選択可能 ・無し ・IEEE1394ボード:6ピン×2		
カードスロット		いずれか選択可能 ・無し ・メディア対応カードスロット(SDメモリーカード※51、メモリースティック※52、xD-ピクチャーカード、スマートメディア※53、コンパクトフラッシュ、マルチメディアカード※54、マイクロドライブ※55)		
スピーカ		いずれか選択可能 ・無し ・外付けステレオスピーカ(0.5W+0.5W)※56		
ディスプレイ		いずれか選択可能 ・無し ・17型(高輝度デジタルTFT液晶[Sound-Vu]) (F17R51)※57 ・17型(高解像度アナログTFT液晶) (LCD1704M-V1)		
主なソフトウェア		いずれか選択可能 ・無し ・Microsoft® Office Personal Edition 2003 ・Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003		

- ※ 1 : 添付のソフトウェアは、インストールされているOSでのみご利用できます。Microsoft® Windows® XP Home Editionでは、ネットワークでドメインに参加する機能はありません。別売のMicrosoft® Windows® XP Home Editionパッケージや別売のMicrosoft® Windows® XP Professionalパッケージをインストールおよび利用することはできません。
- ※ 2 : AMD社が定めた、QuantiSpeed™アーキテクチャを採用したAMD Athlon™ 64 プロセッサ 3800+は、動作周波数2400MHzで動作しておりますが、従来の設計に基づく3800MHzのCPUに相当もしくはそれ以上の性能を有します。
- ※ 3 : AMD社が定めた、QuantiSpeed™アーキテクチャを採用したAMD Athlon™ 64 プロセッサ 3200+は、動作周波数2000MHzで動作しておりますが、従来の設計に基づく3200MHzのCPUに相当もしくはそれ以上の性能を有します。
- ※ 4 : AMD社が定めた、QuantiSpeed™アーキテクチャを採用したAMD Sempron™ プロセッサ 3000+は、動作周波数1800MHzで動作しておりますが、従来の設計に基づく3000MHzのCPUに相当もしくはそれ以上の性能を有します。
- ※ 5 : ビデオRAM は、メインメモリを使用します。但し、メインメモリ容量が256MBの場合は32MBとなります。パソコン本体のメモリ容量が256Mバイトの場合、グラフィックスメモリの設定内容を変更すると動作が不安定となることがあります。この場合は初期設定(ご購入時の設定)に戻してお使い下さい。
- ※ 6 : 他社製の増設メモリの装着は、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は各メーカーにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。
- ※ 7 : 最大メモリ容量にする場合、本体に実装されているメモリを取り外して、増設メモリ(PC3200対応、DDR400MHzメモリ)[1GB]を2枚実装する必要があります。増設メモリは、PK-UG-ME030(256MB)、PK-UG-ME038(512MB)、PK-UG-ME011(1GB)を推奨します。
- ※ 8 : グラフィックボード上にビデオRAM 64MB搭載。64MBを越えるビデオRAMが必要になると、TurboCache™テクノロジにより、PCI Express x16の双方向帯域幅を活用することでダイナミックにメインメモリを使用し、高いグラフィックス性能を提供することができます。
- ※ 9 : パソコン本体のメモリ容量が256MBの場合は最大128MBとなります。
- ※ 10 : グラフィックアクセラレータのサポートする表示モードです。実際に表示できるモードは接続するディスプレイにより異なります。
- ※ 11 : DLSは「DownLoadable Sounds」の略です。DLSを使うと、カスタム・サウンド・セットをSoundMAXシンセサイザにロードできます。
- ※ 12 : 回線状態によっては、通信速度が変わる場合があります。また、内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。
- ※ 13 : 増設によって発生した不具合については保証・サポートの対象外となります。
- ※ 14 : ディスプレイにて17型(高輝度デジタルTFT液晶[Sound-Vu]) (F17R51)を選択された場合、PC本体との接続ケーブルにあるUSBコネクタを接続する必要はありません。
- ※ 15 : DVI対応ディスプレイとの接続には、グラフィックアクセラレータ上に搭載されているDVI-Iコネクタをご利用ください。アナログRGBのディスプレイとの接続には、グラフィックアクセラレータ上に搭載されているD-Subコネクタをご利用ください。I/Oプレート部に搭載されているアナログRGBコネクタはご利用いただけません(選択オプションにてGeForce™ 6600 GTを選択した場合)。
- ※ 16 : 本機のDVI端子はディスプレイセレクションにあるディスプレイのみ動作確認をおこなっております。
- ※ 17 : アナログRGBのディスプレイとの接続には、PCI Expressボードに搭載されているDVI-Iコネクタに、本体添付のDVI-I → アナログRGB変換ケーブルを使用します。I/Oプレート部に搭載されているアナログRGBコネクタはご利用いただけません。(選択オプションにてGeForce™ 6200 with TurboCache™を選択した場合)
- ※ 18 : ディスプレイにて、17型(高輝度デジタルTFT液晶[Sound-Vu]) (F17R51)は選択できません。
- ※ 19 : 本機のPS/2端子は添付のキーボード、マウスのみ動作確認をおこなっております。
- ※ 20 : ディスプレイに添付のオーディオケーブル、または外付けスピーカー等を接続します。
- ※ 21 : メモリ512MB(512MB×1)、FAXボード、チップセット内蔵グラフィックス、DVDスーパーマルチドライブ、ハードディスク200GBの構成にて測定。
- ※ 22 : メモリ512MB(512MB×1)、FAXボード、チップセット内蔵グラフィックス、DVDスーパーマルチドライブ、ハードディスク160GBの構成にて測定。
- ※ 23 : エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。
- ※ 24 : FAXボード、チップセット内蔵グラフィックス、DVDスーパーマルチドライブ、ハードディスク200GBの構成にて測定。
- ※ 25 : FAXボード、チップセット内蔵グラフィックス、DVDスーパーマルチドライブ、ハードディスク160GBの構成にて測定。
- ※ 26 : 周波数特性を保証する値ではありません。
- ※ 27 : メインメモリ容量が256MBの場合、ハードディスクドライブ総容量が1,000GBを超える組み合わせは選択できません。
- ※ 28 : 1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。
- ※ 29 : Windows®のシステムからは、容量がCドライブ:約64GB、Dドライブ:約6.5GB、残り:再セットアップ用として認識されます。
- ※ 30 : Windows®のシステムからは、容量がCドライブ:約138GB、Dドライブ:約6.5GB、残り:再セットアップ用として認識されます。
- ※ 31 : Windows®のシステムからは、容量がCドライブ:約176GB、Dドライブ:約6.5GB、残り:再セットアップ用として認識されます。
- ※ 32 : Windows®のシステムからは、容量がCドライブ:約222GB、Dドライブ:約6.5GB、残り:再セットアップ用として認識されます。
- ※ 33 : Windows®のシステムからは、容量がCドライブ:約455GB、Dドライブ:約6.5GB、残り:再セットアップ用として認識されます。
- ※ 34 : Windows®のシステムからは、容量がCドライブ:約176GB、Dドライブ:約6.5GB、Eドライブ:約186GB、残り:再セットアップ用として認識されます。
- ※ 35 : Windows®のシステムからは、容量がCドライブ:約222GB、Dドライブ:約6.5GB、Eドライブ:約232GB、残り:再セットアップ用として認識されます。
- ※ 36 : Windows®のシステムからは、容量がCドライブ:約455GB、Dドライブ:約6.5GB、Eドライブ:約465GB、残り:再セットアップ用として認識されます。
- ※ 37 : 使用するディスクによっては、一部の書き込み/読み出し速度に対応していない場合があります。
- ※ 38 : 使用するディスクによっては、一部の読み出し速度に対応していない場合があります。
- ※ 39 : DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 (片面4.7GB)に準拠したメディアに対応しています。また、カートリッジ式のメディアは使用できませんので、カートリッジなし、あるいはメディア取り出し可能なカートリッジ式でメディアを取り出してご利用ください。
- ※ 40 : DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB)の書き換えはサポートしていません。
- ※ 41 : DVD+R 2層書き込みはDVD+R DL (2層)ディスクのみに対応しています。
- ※ 42 : DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したメディアの書き込みに対応しています。
- ※ 43 : DVD-R 2層は、DVD-R for DL Ver.3.0に準拠したメディアの書き込みに対応しています。
- ※ 44 : 作成したDVD-R(2層)ディスクについては、弊社製パソコンに搭載されているDVD-R(2層)対応ドライブでのみ読み出しが可能です。
- ※ 45 : DVD-R 2層書き込みに対応している添付ソフトは、「Roxio DigitalMedia」になります。但し、追記には未対応です。
- ※ 46 : DVD-RWは、DVD-R Ver.1.1/1.2に準拠したメディアの書き換えに対応しています。

- ※47: SuperAudio CDは、ハイブリッドのCD Layerのみ読み出し可能。
- ※48: Ultra Speed CD-RWメディアはご使用になれません。
- ※49: 2モード(720KB/1.44MB)に対応しています(ただし、720KBモードのフォーマットは不可です)。
- ※50: 最大56Kbpsはデータ受信時の理論上の最大速度です。データ送信時は最大33.6Kbpsになります。
- ※51: SDメモリーカードの、著作権保護機能には対応しておりません。「miniSDカード」をご使用の場合には、必ずminiSDカードアダプタをご利用ください。詳しくは「miniSDカード」の取扱説明書をご参照ください。
- ※52: メモリースティックの「マジックゲート」(著作権保護)機能には対応しておりません。「メモリースティック Duo」をご使用の場合は、必ずメモリースティック Duoアダプタをご利用ください。詳しくは「メモリースティック Duo」の取扱説明書をご参照ください。
- ※53: 3.3Vタイプ(または3Vと表示されているタイプ)のみ使用できます。5Vタイプのカードはご使用できません。
- ※54: Keitaido-Music機能(UDAC-MBプロトコル)には対応していませんので、著作権保護機能のある音楽データは取り扱えません。
- ※55: ほかのメディアと同時に使用することはできません。
- ※56: 任意選択オプションのTFT液晶ディスプレイ側にスピーカ(ステレオ)が内蔵されています。液晶ディスプレイを選択し、スピーカを選択された場合、液晶ディスプレイ内蔵スピーカ用Audioケーブルもしくは外付けスピーカのどちらか一方を本体に接続することができます。
- ※57: グラフィックアクセラレータにて、SiS社製 SiS761GX[チップセットに内蔵](アナログ接続)は選択できません。

■ディスプレイ仕様

型番	PC-GV38NUZG1	PC-GV32NUZG1	PC-GV30UUZG1
	PC-GV38NUZM1	PC-GV32NUZM1	PC-GV30UUZM1
画面サイズ	17型(高輝度デジタルTFT液晶)		17型(高解像度アナログTFT液晶)
ディスプレイ型番	F17R51		LCD1704M-V1
表示寸法(アクティブ表示エリア)	337(W)×270(H)mm		
画素ピッチ	0.264mm		
表示解像度	1,280×1,024ドット、1,024×768ドット※1、800×600ドット※1、640×480ドット※1		
インターフェイス	DVI-D、ヘッドフォン出力×1、ステレオライン入力×1、リモコン受信機×1		アナログRGB(ミニD-sub15ピン)、ヘッドフォン出力×1、ステレオライン入力×1
消費電力	約57W		約34W
外形寸法	461(W)×212(D)×407(H)mm		376(W)×180(D)×389(H)mm
質量	約8.4 kg		約4.7kg
LCDドット抜け※2※3	0.00016%以下		
備考	SoundVu、サブウーファ		ステレオスピーカ(1W+1W)

- ※1: 擬似的に画素を拡大して表示しているため文字などの線がぼやけて表示される場合があります。
- ※2: 液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。
また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。
これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
※: 社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインに従い、ドット抜けの割合を添付マニュアルの仕様一覧に記載しております。ガイドラインの詳細については、以下のWEBサイトをご覧ください。
「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
<http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html>
- ※3: ISO13406-2の基準にしたがって、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。

■LAN仕様一覧

項目	規格
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	100BASE-TX使用時: 100Mbps 10BASE-T使用時: 10Mbps
伝送路	100BASE-TX使用時: UTPカテゴリ5 10BASE-T使用時: UTPカテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式
ステーション台数	最大1,024台/ネットワーク
ステーション間距離/ネットワーク経路長※	100BASE-TX: 最大約200m/ステーション間 10BASE-T: 最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント

※リピータの台数など、条件によって異なります。

その他のご注意

[著作権に関するご注意]

- ・ お客様が複製元のCD-ROMやDVD-ROMなどの音楽コンテンツやビデオコンテンツの複製や改変を行う場合、複製元の媒体などについて、著作権を保有していなかったり、著作権者から複製や改変の許諾を得ていない場合、利用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。
- ・ 複製の際は、複製元の媒体の利用許諾条件、複製などに関する注意事項にしたがってください。
- ・ お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかには、著作権法上、著作権者に無断で使用することはできません。

[DVD/CDの読み込み／書き込みについて]

- ・ コピーコントロールCDなど一部の音楽CDでは、再生やCD作成ができない場合があります。
- ・ CPRM (Content Protection for Recordable Media)の著作権保護機能には対応しておりません。
- ・ メディアの種類、フォーマット形式によって読み取り性能が出ない場合があります。また、記録状態が悪い場合など、読み取りできない場合があります。
- ・ 12cmDVD/CD、8cm音楽CD以外は使用できません。ハート形、カード型などの特殊形状をしたCDは故障の原因となりますので使用できません。
- ・ 設定した書き込み、書き換え速度を実現するためには、書き込み、書き換え速度に応じたメディアが必要になります。
- ・ 映像ソフトの再生は、ソフトウェアによるMPEG2再生方式です。NTSCのみ対応しております。Regionコード「2」、「ALL」以外のDVDビデオの再生は行えません。再生するDVDディスクおよびビデオCDの種類によってはコマ落ちする場合があります。リニアPCM (96KHz/24bit)で記録されている20KHz以上の音声信号は再生できません。DVDレコーダで記録されたDVDで、書き込み形式により再生できないものがあります。そのような場合はDVDレコーダの取扱説明書などをご覧ください。
- ・ ライティングソフトウェアが表示する書き込み予想時間と異なる場合があります。
- ・ 作成したDVDは家庭用のDVDプレーヤーやDVD-ROMドライブ搭載パソコンで再生できますが、一部のDVDプレーヤーやDVD-ROMドライブでは再生できないことがあります。また、メディアやプレーヤーの状態により再生できないことがあります。
- ・ ソフトウェアによっては書き込み速度設定において最大速度を表示しない場合があります。

[周辺機器接続について]

- ・ 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
- ・ 接続する周辺機器によっては対応していない場合があります。
- ・ USB1.1対応の周辺機器も利用できます。USB2.0で動作するにはUSB2.0対応の周辺機器が必要です。
- ・ 他社製増設機器の接続につきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は各メーカーにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。

[インターネット電話／インターネットTV電話について]

- ・ ご利用の通信事業者、プロバイダ、お客様の環境によってはご利用になれない場合があります。事前に通信事業者やプロバイダにご確認ください。ADSLなどのブロードバンド環境でのご利用を推奨いたします。

MEMO



* 8 1 0 6 0 1 4 9 2 A *

初版 2005年10月
NEC
853-810601-492-A
Printed in Japan

ValueOne
ValueOne Gシリーズを
ご購入いただいたお客様へ

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1 (ゲートシティ大崎ウエストタワー)

このマニュアルは再生紙(古紙率:本文100%)を使用しています。